

主要施策名：(4)文化・芸術の振興

事務事業本数：10

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③人をはぐくむまちづくり	(4)文化・芸術の振興		340-1	岱明玉名線文化財発掘調査事業	文化課
			340-2	市内遺跡試掘確認調査事業	文化課
			340-3	市内遺跡発掘調査事業	文化課
		(1)歴史・文化施設の充実	341-1	市民会館管理事業	管財課
			341-2	市民会館建設事業	管財課
			341-3	文化財保護事業	文化課
			341-4	博物館事業	文化課
			341-5	博物館施設管理・運営業務	文化課
			341-6	収蔵品等管理業務	文化課
		(2)文化交流活動の推進	342-1	文化振興事業	文化課

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	岱明玉名線文化財発掘調査事業		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	中村安宏
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 8 項 2 目 3 細目 6			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であるため、市道岱明玉名線計画路線内で確認された埋蔵文化財については、玉名市において発掘調査を実施し、記録保存を図らなければならない。
対象(誰、何に対して) 【9】	埋蔵文化財
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	工事によって影響を受ける埋蔵文化財について、現地での発掘調査及びその後の整理作業・報告書刊行を行うことで記録保存を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H22 年度～ H31 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	岱明玉名線道路新設改良工事の路線内において、埋蔵文化財の予備調査を実施した結果、事業予定地内に埋蔵文化財が確認されたため、工事着手前に現地での発掘調査を実施し、その後の整理作業・報告書刊行により記録保存を行う。 路線面積：約29,000㎡ 発掘調査予定面積：17,900㎡	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 岱明玉名線文化財発掘調査事業(補助) ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	55 %	13,860	11,988	11,100	14,850	265,250
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	95 %	8,700	7,500	7,000	11,500	183,400
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		540	2,244	400	650	13,336
		【16】 小 計		23,100	21,732	18,500	27,000	461,986
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		20,219	17,180	10,368	17,714	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		2.00	1.70	1.20	3.00	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計			11,522	9,981	7,045	17,613		
合 計			34,622	31,713	25,545	44,613		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 岱明玉名線文化財発掘調査事業(補助)	岱明玉名線事業用地内の埋蔵文化財を発掘調査する。	現地調査面積(累計)	m ²	16750	16750	16750	17900
②		整理作業進捗率	%	40	55	65	75
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 文化財発掘調査進捗率	調査予定面積に対する現地調査進捗率	%	84	84	84	100
2 文化財整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	40	55	65	75
			40	55	65	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発行為を行う場合は、届出が義務付けられており、事業を止めた場合、開発行為に対して中断・中止といった重大な影響を及ぼすことが考えられる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	道路事業に影響の無いよう調査を進めるためには、調査を効率よく展開していく必要があるが、業務委託が可能な業務については、積極的な民間活用を図りながら限られた期間で確実に業務を進めており、現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	文化財の保護は、文化財保護法等により着実に施行すべき地方自治体の事務である。開発行為により影響を受ける埋蔵文化財については、発掘調査を実施し、記録保存を図ることでその保護を確実にしなければならない。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市内遺跡試掘確認調査事業		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	齋父雅史
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 4 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、各種開発に伴う工事との調整を図り、適切に保存されることが求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	埋蔵文化財等
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	事務局や開発者からの事業照会后、踏査・試掘・確認調査を行うことで遺跡の内容を把握し、工事との調整を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	各種開発事業予定地が、遺跡が存在する可能性が高い土地であったり、埋蔵文化財包蔵地内である場合に、その一部を重機や人力で掘削し、地下の状況を確認する。遺跡が存在しない場合や遺跡の現状保存が可能な場合は開発着手可能であるが、埋蔵文化財に影響を及ぼす場合は、発掘調査(本調査)が必要となる。その判断を行うための予備調査である。		事務事業を構成する細事業 【15】 ① 市内遺跡試掘確認調査業務 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 50 %	1,048	2,004	2,500	6,950	0
		県支出金 %	0	0	0	695	0
		起債 %	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,048	2,004	2,500	6,255	0
	【16】 小 計	2,096	4,008	5,000	13,900	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	589	1,951	2,531	2,904		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.35	0.95	0.95	2.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計		7,777	5,577	5,577	11,742		
合 計		9,873	9,585	10,577	25,642		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市内遺跡試掘確認調査業務	埋蔵文化財包蔵地内の届出受付や試掘を行う。	届出受付件数	件	92	82	73	90
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 市内遺跡試掘・確認調査件数	開発予定地の開発行為届出に関して、試掘確認調査を行った件数	件	—	—	—	—
			15	24	12	
2 発掘(本調査)件数	試掘確認調査を基に本調査を行った件数	件	—	—	—	—
			1	2	2	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発行為を行う場合は届出が義務付けられており、事業を止めた場合、開発行為に対して中断・中止といった重大な影響を及ぼすことが考えられる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現状を見直す点がないため、関係法令に基づいて進めていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	文化財の保護は、文化財保護法等により着実に施行すべき地方自治体の事務である。担当事務部局や開発者からの事業照会后、踏査・試掘・確認調査を行うことにより、埋蔵文化財の確実な保護と、円滑な開発等の調整を行うことが重要である。	評価責任者 竹田宏司
------------------	--	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市内遺跡発掘調査事業		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	齋父雅史
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 4 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、各種開発に伴う工事との調整を図り、適切に保存(記録保存含む)されることが求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	埋蔵文化財等
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	開発行為によって影響を受ける埋蔵文化財を保護するため、発掘調査を行い文化財の状況を記録保存する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	各種開発に伴い、埋蔵文化財の試掘・確認調査を実施した結果、下記については埋蔵文化財が確認され、現状での保存が困難であったため、工事着手前に発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図る。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 庄山中ノ尾遺跡発掘調査(整理作業) ② 高岡原遺跡発掘調査(現地調査) ③ 高岡原遺跡発掘調査(整理作業) ④ 築地館跡発掘調査(現地調査) ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	816	689	3,358	240
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	816	689	3,358	240
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	744	595	1,858	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.15	0.35	0.40	1.50
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		864	2,055	2,348	8,807	
合計		1,680	2,744	5,706	9,047	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 庄山中ノ尾遺跡発掘調査(整理作業)	発掘調査の後に、整理作業を行い、報告書を作成する。	作業進捗率	%	***	***	100	***
② 高岡原遺跡発掘調査(現地調査)	開発に伴い埋蔵文化財に影響を及ぼす範囲について、記録保存のための発掘調査を行う。	発掘調査面積	m ²	***	***	830	***
③ 高岡原遺跡発掘調査(整理作業)	発掘調査の後に、整理作業を行い、報告書を作成する。	作業進捗率	%	***	***	100	***
④ 築地館跡発掘調査(現地調査)	開発に伴い埋蔵文化財に影響を及ぼす範囲について、記録保存のための発掘調査を行う。	発掘調査面積	m ²	***	***	730	***
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 発掘調査進捗率	予定発掘調査面積/実発掘調査面積×100	%	***	***	100	***
2 整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	***	***	100	***

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発行為を行う場合は届出が義務付けられており、事業を止めた場合、開発行為に対して中断・中止といった重大な影響を及ぼすことが考えられる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現状を見直す点がないため、関係法令に基づいて進めていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	文化財の保護は、文化財保護法等により着実に施行すべき地方自治体の事務である。開発行為により影響を受ける埋蔵文化財については、発掘調査を実施し、記録保存を図ることでその保護を確実にしなければならない。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民会館管理事業		所管課 【2】	管財課
			評価者(担当者)	酒井 裕之
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市民会館条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市民会館条例、市民会館条例施行規則 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 2 項 1 目 6 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽・演劇の鑑賞や集会・式典など、さまざまな文化活動等の中核施設として、また地域振興の拠点である市民会館については、公の施設として管理する必要があるため。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民会館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	住民が利用しやすい施設として、修繕等を行いながら長期的に利用できるよう管理を行い、また運営面でもサービスの向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理 】		
事務事業の具体的内容 【14】	市民会館については指定管理により平成27年4月1日から平成32年3月31日まで管理及び運営を指定管理団体へ委任している。また、ホールに係る修繕については協定により100万円以上のものが発生した場合は市の負担により、破損状況を確認し修繕を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 市民会館指定管理業務 ② 市民会館維持管理業務 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	22,676	22,875	22,884	22,680	
	【16】 小 計	22,676	22,875	22,884	22,680	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.15	0.10	0.05	0.05	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計		864	587	294	294		
合 計		23,540	23,462	23,178	22,974		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市民会館指定管理業務	指定管理協定に基づく負担による修繕を行う。	修繕件数	箇所	0	1	1	1
② 市民会館維持管理業務	市民会館を効率的に安全で快適に使用できるように指定管理者に管理運営させる。	開館日数	日	360	360	283	360
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 市民会館利用者数	市民会館を利用した年間延利用者数	人	—	—	—	—
			117778	107847	106567	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	「住民の利用」に供する目的である文化芸術、講演会等での利用が出来なくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	地震によるホール・イベント数(リハーサル数)の減、利用者の高齢化に伴う開催数の減の影響が大きく、若年層への開催促進を図る必要がある。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	現行は、非公募による指定管理選定を行っているため、今後は公募による指定管理選定を検討する。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	効率化を図り、幅広い年齢層への周知活動、H32年度以降は、公募による指定管理選定等を予定している。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	適切な運営・管理に努め、新市民会館完成後は、指定管理者との協議を通じて充実を図ること。	評価責任者 藤森 竜也
------------------	---	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民会館建設事業		所管課 【2】	管財課
			評価者(担当者)	西 正宏
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 2 項 1 目 6 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉市民会館は、昭和42年3月に開館し、さまざまな文化活動の中核施設として、幅広く市民が利用している。しかし、バリアフリー対策の不足、舞台の袖の狭さなど、多くの不便を抱え、さらに耐震性の不足や音響設備等の老朽化も著しいため、建替えを含む整備の必要性が求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、市民会館利用者、市民会館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	音楽活動の盛んな街として、「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援し、音楽を通して地域や年代を超えた多様な交流を促すとともに、感性豊かな人間形成とまちづくり、文化レベルの向上を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H25 年度～ H31 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	【建物計画概要】鉄筋コンクリート造 延床面積4,678㎡ 大ホール826席、小ホール300席、練習スタジオ、楽屋、会議室、倉庫、事務所など 駐車場132台		事務事業を構成する細事業 【15】
			⇒ ① 市民会館整備事業 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 40 %	0	0	9,700	297,600	855,100
		県支出金 %	0	0	0	0	0
		起債 95 %	0	0	24,100	857,100	2,156,800
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,808	6,472	2,176	45,613	125,690
	【16】 小 計	2,808	6,472	35,976	1,200,313	3,137,590	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.55	1.40	0.90	0.90	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計	3,169	8,219	5,284	5,284			
合 計		5,977	14,691	41,260	1,205,597		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市民会館整備事業	実施設計業務委託	委託等の件数	件	3	2	1	2
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 市民会館整備事業進捗率	出来高事業費/総事業費	%	0.00	0.30	2.50	39.70
			0.00	0.30	1.43	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	未達成の理由は、実施設計業務が入札により安価で実施できたもの。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市内唯一の貸しホールであり、市民文化活動の拠点及び集会等の施設としての役割は大きく、国の交付金を活用し、建築に向け事業の推進を図る。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	適切な監理に努め、工期内の完成を目指すこと。	評価責任者 藤森 竜也
-------------------	------------------------	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化財保護事業		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	末永 崇
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化財保護法、玉名市文化財保護条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 4 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本市には、多くの文化財が残されているが、十分な保存環境が整っておらず公開も一部に限られており、将来に向けて適切な保存整備や、活用方針を示す必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	文化財、市民、他市町村民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市内に残された多くの優れた文化財の把握と価値付けのために、文化財に関する調査を進め、適切な文化財指定・登録を推進していく。また、後世に伝えるため文化財の保存整備を図り、文化財を通して郷土の歴史を学習する場を提供するなど、活用と公開に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・指定文化財を適切に保存管理するため、清掃・除草・見廻り等を実施する。また、保存環境が適切でない文化財の整備に取り組むため、公有化を進める。 ・未指定の文化財について、その価値付けを行い指定文化財として保存できるよう、文化財保護審議会と連携しながら調査を進める。 ・価値の高い国指定文化財などを、保存に留意しながら積極的に一般公開し、学習や観光の機会を提供する。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 文化財保存管理業務 ② 有形・無形民俗文化財補助事業 ③ 文化財保護審議会業務 ④ 文化財公開業務 ⑤ 文化財指定業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 80 %	120	120	120	120	0
		県支出金 %	0	0	0	0	0
		起債 %	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,699	13,860	10,599	20,489	0
	【16】 小計	6,819	13,980	10,719	20,609	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	1,303	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	2.10	1.80	1.25	2.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		12,098	10,568	7,339	14,678		
合計		18,917	24,548	18,058	35,287		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 文化財保存管理業務	地元等に委託し除草、清掃、見廻り等の管理を行う。	業務委託団体数	団体	15	14	15	15
② 有形・無形民俗文化財補助事業	指定文化財の保護・保存活動に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	5	9	11	11
③ 文化財保護審議会業務	会議及び現地調査を開催する。	会議等開催数	回	2	3	3	3
④ 文化財公開業務	国指定文化財等を一般に公開する。	一般公開日数	日	3	3	2	2
⑤ 文化財指定業務	指定に関する調査を行い保護審議会の諮問を経て指定する。	新規指定・登録件数	件	0	2	0	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 県内装飾古墳県下一斉公開時見学者数	県下一斉で公開対象となった装飾古墳見学者の人数	人	500	500	1000	1000
			518	1376	752	
2 指定・登録文化財件数	国県市指定・登録文化財の累計数	件	151	152	154	154
			151	153	153	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	管理業務を地元行政区等に委託しているが、委託業務を止めた場合適切な管理ができない状況が予想される。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) C	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	指定文化財の件数増加は達成できなかったが、1件の追加指定を行った。装飾古墳一斉公開見学者数については、熊本地震の影響により公開対象を減らしたため、見学者数が減少した。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	文化財保護精神の普及のため、指定文化財について地元行政区での管理が望ましく、協議しながら進める。
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	文化財公開事業として、装飾古墳一斉公開事業に関しては、熊本地震の影響で永安寺東古墳の公開は見合わせているものの、それ以外の古墳の公開は今後も実施する。また、日本遺産認定に伴い、古墳以外の文化財も積極的に公開事業として実施する。指定文化財については、文化財保護審議会に諮りながら新規指定や、必要な指定範囲の拡張を進める。これに伴い保存管理についても範囲の拡張を図る。また、一般向けの文化財説明資料の充実を図る。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	指定文化財事業について、件数は現状維持であるものの、高瀬船着場跡の指定範囲拡張に伴う追加指定を行った。また、文化財の普及啓発のため、文化財ガイドマップを作製した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	熊本地震では、指定、未指定に関わらず多くの文化財が被災しており、これまで以上に文化財の価値づけと指定の推進、日頃からの適切な維持管理、記録の作成を進める必要がある。併せて活用についても、さらなる充実が必要である。	評価責任者 竹田宏司
-------------------	--	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館事業		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	佐藤夕香
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市博物館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 6 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館は、今年で開館23年目となる。これまで来館経験のある方に再度来ていただくためには、企画展内容の充実と催し物や体験学習等における新たな魅力ある事業の取組が必要である。事業に係る調査や資料収集、展示或いは外部者からの学術的・専門的な問い合わせ等に対応できる学芸員の育成を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市内外からの入館者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	玉名の歴史・文化の紹介を通して、市民の郷土愛を育み、各地に残る歴史的文化的遺産の継承にも繋げて行く。また、市外の方にも玉名の様々な魅力を知ってもらい、観覧者の増加と利用者の拡大を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品等資料を展示した企画展を開催する。 ・無料スペースによる展示及びコンサート等を開催する。 ・講座、史跡探訪、天体観測等体験型学習会を開催する。 ・市広報紙等による博物館行事の情報発信を行う。 ・外部団体からの依頼に応じて出前講座を開講する。 		事務事業を構成する細事業 【15】 ① 企画展事業 ② 催物事業 ③ 体験学習事業 ④ 広報・集客業務 ⑤ 出前講演講座事業

《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,257	10,149	9,944	10,825	0
	【16】 小 計		10,257	10,149	9,944	10,825	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		7,311	7,073	7,697	7,625	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.25	0.30	0.30	0.30	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計		1,440	1,761	1,761	1,761		
合 計		11,697	11,910	11,705	12,586		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 企画展事業	収蔵品や収集又は借用した資料等の展示会を開催する。	展示会開催回数	回	4	4	5	5
② 催物事業	収集及び作品募集した資料等の展示、コンサート等を開催する。	催物開催回数	回	20	17	16	14
③ 体験学習事業	体験学習会等を開催する。	体験学習会開催回数	回	26	26	20	15
④ 広報・集客業務	市広報紙やHPへの掲載等により周知や集客を行う。	市広報・HP掲載回数	回	24	24	12	12
⑤ 出前講演講座事業	依頼団体への出前講座を行う。	出前講演回数	回	3	9	5	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 博物館来館者数	博物館に入館した延べ人数	人	13000	14000	14000	13000
			12818	17150	11481	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を廃止した場合、来館者が激減し、玉名の歴史・文化の継承が出来なくなる。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	平成28年4月に発生した熊本地震の影響で前年度より入館者数が減少した。ただ長期的にみると入館者は増加傾向にある。今後も来館者等が分かり易く楽しめる新規事業の導入などの工夫と努力を続けることが重要である。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	平成28年4月に発生した熊本地震の影響を受けて平成28年度は入館者数が減少したが、長期的には魅力ある企画展や催物事業等の開催により入館者数も年々増加傾向にあることから、特に改善等を要せず現状のまま継続するが、今後も博物館に一人でも多くの方が訪れていただけるように、地域や伝統行事にちなんだ展示や事業の充実を図っていく。また、平成31年から大河ドラマの主演に決定した玉名市名誉市民の金栗四三についても企画展示室等にコーナーを設けて常時見学できるようにする。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	単に入館者の増をはかることでなく、社会教育機関として、博物館としての基本的な機能をより充実させることが求められている。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館施設管理・運營業務		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	佐藤夕香
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館管理運営規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 6 細目 3			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館が有する機能と役割は、歴史的・文化的価値が高い資料の保存管理及び各種調査研究並びに公開・展示等が挙げられる。この施設や設備等の適切な維持管理や玉名の文化、歴史に興味を抱くことができる博物館の運営を求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市内外からの入館者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	博物館施設の適切な維持管理と運営を行うことにより、お客様に玉名の文化と歴史に興味を持っていただき、気持ちよく観覧していただく。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・入館料徴収や刊行物販売等の窓口業務を行う。 ・博物館施設の維持管理を業務委託により行う。 (委託内容) 施設警備、電気工作物保安管理、昇降機保守、 消防設備 保守、空調機保守、館内清掃、施設内除草 ・空調機や消火設備等館内設備の修繕を行う。		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 運営(窓口)業務
			② 博物館建物管理業務
			③
			④
			⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	6,354	5,473	6,257	15,137	
	【16】 小計	6,354	5,473	6,257	15,137	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,093	1,789	1,872	1,921		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.30	0.30	0.30	0.40	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計	1,728	1,761	1,761	2,348			
合計		8,082	7,234	8,018	17,485		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 運営(窓口)業務	開館して受付業務を行う。	開館日数	日	303	302	299	304
② 博物館建物管理業務	業務委託による維持管理を行う。	委託件数	件	7	7	7	7
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 博物館観覧料徴収金額	入館者が納めた観覧料の合計金額	千円	599	599	599	599
			547	2054	1098	
2 博物館使用料徴収金額	館内レクチャーホールの使用者が納めた使用料の合計	千円	—	—	—	—
			41	12	14	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明	
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	公立の博物館として、玉名の歴史と文化を研究し、その成果を情報発信する役割を担っており、適切な施設管理をしなければ博物館の設置目的である歴史文化の振興に支障が生じる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	施設の老朽化への対応が従来より引き続いての課題である。消防設備は平成29年度に、空調機器・照明設備は平成30年度に対応することが決まったが、油圧式エレベーターへの対応については未定である。しかし、エレベーターは交換部品が生産終了となっており、加えて平成27年8月には熊本県北広域本部長より「現行法に適合しないため改善するように」との通知を受けた。エレベーターは資料の移動のみでなく障がい者の入館等にも使用している。安全性を維持するためにも早急に対応が必要である。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	排煙窓の修繕、屋上展示施設からの水漏れ修繕を行った。 平成29年度は消防設備の更新を行う。空調機器・照明設備への対応については平成30年度に「カーボン・マネジメント強化事業」の一環として行うことが決まった。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	社会教育機関であり、資料の収集・保管・調査研究といった博物館の基本的な機能を果たし、来館者の安全・快適な利用のために適切な管理・運営を行う必要がある。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	収蔵品等管理業務		所管課 【2】	文化課
			評価者(担当者)	佐藤夕香
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)歴史・文化施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館管理運営規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 6 細目 4			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	歴史的、文化的価値が高い収蔵品の保全管理は、学術的及び文化的な発展に大きく寄与する。
対象(誰、何に対して) 【9】	収蔵品、文書・新聞記事等、寄贈・寄託者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	資料の収集、収蔵品の保存管理を適切に行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	・収蔵資料は修繕・修復、収集・整理、手入れ(刀剣)等を行い、管理する。 ・寄贈寄託者と文書による取り交わしを行い、収蔵品としての管理を行う。		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 収蔵品等管理業務
			② 収蔵品寄贈・寄託手続業務
			③
			④
			⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 50 %	1,485	0	0	0
		県支出金 %	0	0	0	0
		起債 %	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	3,616	6,109	2,553	2,860
		【16】 小 計	5,101	6,109	2,553	2,860
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,044	1,947	2,045	1,886	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.40	0.40	0.30	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小 計		2,304	2,348	1,761	1,761	
合 計		7,405	8,457	4,314	4,621	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 収蔵品等管理業務	修繕、燻蒸等の委託を行い劣化を防ぐ。	劣化防止及び修復件数	件	0	1	0	1
② 収蔵品寄贈・寄託手続業務	寄贈、寄託の手続を行う。	手続き件数	件	11	10	14	0
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 収蔵品数	収蔵品数として管理している点数	点	30000	30000	30000	30000
2 目録化率	全収蔵品のうち目録化を終えている割合	%	94	94	94	94
			93	93	93	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	歴史的にも貴重で価値のある収蔵品を管理することは当然のことであり、適切な管理ができれば、歴史文化の振興にも影響を及ぼす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	目録が必要な資料が増え、わずかながら目標値に届かなかったが、93%の目録化率は適正な数値である。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	収蔵庫管理は現状維持が妥当である。今後も資料保存のため職員(学芸員)の虫菌害対策や美術品の取り扱い方等の知識を深める必要がある。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	博物館資料として収集した資料を適切な環境で保存し、活用できる状態で維持することは、博物館の基本的な機能であり、より充実を図るべきである。	評価責任者 竹田宏司
------------------	--	---------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化振興事業		所管課【2】	文化課
			評価者(担当者)	村上とも子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)文化交流活動の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 文化芸術振興基本法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 8 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市の文化振興には、文化活動を推進する文化団体や個人の自主的、自発的な文化活動が欠かせないため、市としての可能な限りの支援が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	文化的事業及び文化団体
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	芸術文化都市に向け、文化関係団体や個人に対し、市が必要な支援を行うことで活動を充実させ文化の振興を図る

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・市文化協会の運営及び活動に対し人的・財政的な支援を行うと共に、岱明太鼓等民俗芸能にも補助金交付による財政的な支援を行う。 ・文化財保護を目的として基金の利息分の積立を行う。 ・市民文化祭の開催にあたり、市が一部の経費を支出し共催により実施する。		事務事業を構成する細事業【15】 ① 文化関係団体補助事業 ② 全国大会等出場激励金交付事業 ③ 文化振興景観整備基金積立事業 ④ 市民文化祭開催支援事業 ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画		
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	100 %	836	0	0	0	
		県支出金	%	0	0	0	0	
		起債	%	0	0	0	0	
		受益者負担		0	0	0	0	
		その他		31	32	32	20	0
		一般財源		2,472	2,607	2,428	2,882	0
	【16】 小計		3,339	2,639	2,460	2,902	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		306	345	117	117		
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.21	0.61	0.50	0.57	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		1,210	3,581	2,936	3,346			
合計		4,549	6,220	5,396	6,248			

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 文化関係団体補助事業	伝統文化団体に補助金を交付し文化活動を支援する。	補助金交付団体数	団体	4	2	2	2
② 全国大会等出場激励金交付事業	文化的な全国大会等への出場者へ激励金を交付する。	大会激励金交付件数	件	3	3	1	2
③ 文化振興景観整備基金積立事業	文化財保護に活用する基金に利息分を積み立てる。	積立残高	万円	5440	5444	5444	5444
④ 市民文化祭開催支援事業	文化協会の主催を共催により支援する。	催物開催件数	件	16	17	18	18
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 文化協会所属会員数	4月1日現在の会員数	人	1178	1200	1200	1100
			1166	1046	992	
2 市民文化祭観覧者数	市民文化祭に訪れた観覧者数	人	1300	1300	1300	1300
			1045	1900	1736	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	民間主導であるが、行政として支援しなければ広く市民の参画が損なわれ、文化振興につながらない恐れがある。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	文化協会、団体数、会員数共に減少の傾向である。加盟団体の活動内容等を広報等で、さらにPRすることで、会員増加につながる余地がある。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	文化協会を中心として、市民の主体的な文化活動が行われているが、文化団体によっては、参加者の会員減や高齢化がすすんでいる。そのため、文化協会加盟団体の活動支援のため、広報等で団体の紹介を行っているが、今後も引き続き周知活動を行う。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	毎月、広報に文化協会加盟団体の様子を紹介し、市民への周知を行った。秋の文化祭とは別に代表者の出演による春の文化祭を、3月に開催し、文化芸術活動への参加意欲を高め文化振興に寄与した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	文化振興の課題として、市民の文化活動への参加が少なく、文化団体参加者の高齢化や減少傾向も課題である。一方で若者の文化芸術活動への参加を高めるような事業の充実が求められており、情報発信など、より積極的な改善が必要である。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------